

アーツカウンシル新潟

文化情報スペース

語りの場

vol.7

# 土地の記憶を集め、残す

～市民参加による「地域アーカイブ」～

戦後、地域の様相—風景、風俗、言葉等—は、大きく変化をしています。映像は、過去の土地の記憶の断片を記録した貴重な資料となります。行政やメディア、大学等が記録、保管している映像をアーカイブする取り組みは各関係者で行われていますが、その映像の多くは目的があって撮影された特別な〈出来事〉の記録です。その一方、個人が撮影した8ミリフィルムなど、〈日常〉の記録は、アーカイブされることなく、経年のため、技術的あるいは資金的な難しさから再生されることなく、放置されているのが現状です。

今回は、「沖縄アーカイブ研究所」から真喜屋力氏をお迎えし、沖縄アーツカウンシルの支援を受け、沖縄県内の個人が所有する貴重な映像資料を収集、デジタル化し、〈出来事〉と〈日常〉を含めた「地域アーカイブ」の構築をめざした取り組みをもとに、新潟市におけるアーカイブのあり方について考えます。

日時 2018年2月19日(月) 19:00～21:00

参加費無料 定員20名(先着、要申込)

場所 アーツカウンシル新潟 文化情報スペース

主催 アーツカウンシル新潟

新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公社社会館3F

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団内(新潟市役所分館横)



真喜屋 力 (まさや つとむ) 沖縄アーカイブ研究所プロデューサー／映画監督



1966年生まれ、51歳。

『パイナップルツアーズ』(’92)で映画監督デビュー。

沖縄のミニシアター桜坂劇場でディレクターとして立ち上げに参加。現在は沖縄で撮影されたアマチュア8ミリフィルムの収集、保存、公開を行う。あわせて沖縄デジタルアーカイブ協議会会長として、県内のアーカイブの連係を行なっている。

<沖縄アーカイブ研究所> <http://okinawa-archives-labo.com>

個人的な趣味から収集を始めた一般市民が撮影した8ミリ映画を、公的な文化資産として収集、保存、公開を目的とした活動を続ける。本年度から、株式会社シネマ沖縄のデジタルアーカイブ事業の中に一部組み込み、沖縄県と(公財)沖縄県文化振興会の支援も受け、収集した映像のオープン化を行っている。

<お申込み方法>

氏名・電話番号・メールアドレスを記載の上、FAXかメールでお申込みください。Facebookからもお申込みいただけます。なお、お申込みの際には「2/19参加希望」と明記してください。

FAX:025-234-4521 メール: [artscouncil@niigata.email.ne.jp](mailto:artscouncil@niigata.email.ne.jp)  <https://www.facebook.com/arts.niigata>

<お問い合わせ>

TEL:025-234-4530(アーツカウンシル新潟) 受付時間 8:30～17:15(土・日・祝を除く)